

科目名	死生学 Death and Life Studies		担当教員 (研究室番号)	久間 泰賢 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	kyomutanto@ml.mcn.ac.jp					
履修年次	4年次前期	科目区分	教養・基礎科目		選択区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
科目目的	宗教とは何であるか、宗教は人間にとってどんな意味を持っているか、人間の生死とどのような関わりがあるか、という問題について考え、自分自身の意見を持てるようになること。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度)										
	関連するDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解) I 自己の課題に対して研鑽する態度を身につけている。(姿勢・態度)										
到達目標	1. 世界の諸宗教についての基本的な知識を習得できる。 2. 運命、病、癒しなどのテーマと宗教との関わりを理解できる。 3. 科目目的に記載した宗教をめぐる問題について、自分自身の意見を持てるようになる。											
成績評価方法 (基準)	筆記試験 (90%)、授業への参加度 (10%)											
再試験の有無と基準等	再試験無し											
教科書	必要な資料を毎回プリントして、教室で配布する。											
参考書等	必要時に提示する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	宗教と私たちの生活との関わりについて、深く考える機会を提供したい。											
備考	開講期間を通じて2～3回ほど、授業テーマに関わる映像資料を鑑賞し、それについて感想を書いてもらう。											
回	学習項目					学習内容					主担当教員	授業方法
1回	宗教の定義と宗教学の方法					宗教をどのように定義するか 宗教学における様々な方法論の概観					久間	講義
2回	世界宗教について					世界宗教の概論的説明					久間	講義
3回	運命は受け入れるべきものか、克服すべきものか①					インド仏教の運命観～因果応報の思想～					久間	講義
4回	運命は受け入れるべきものか、克服すべきものか②					西洋の運命観～古代ギリシアからキリスト教に至るまで～					久間	講義
5回	運命は受け入れるべきものか、克服すべきものか③					イスラームの運命観					久間	講義
6回	宗教は病をどう捉えるのか①					インド仏教の基本教理における病の捉え方					久間	講義
7回	宗教は病をどう捉えるのか②					キリスト教における病の捉え方					久間	講義
8回	宗教は病をどう捉えるのか③					イスラームにおける病の捉え方					久間	講義
9回	諸宗教における医師的存在①					ヒンドゥー教の神話における医師的存在					久間	講義
10回	諸宗教における医師的存在②					仏・菩薩の医師的性格					久間	講義
11回	諸宗教における医師的存在③					キリスト教における医師的存在～イエスと治癒神～					久間	講義
12回	諸宗教における癒しと救済①					ヒンドゥー教と仏教における救済					久間	講義
13回	諸宗教における癒しと救済②					キリスト教における救済					久間	講義
14回	諸宗教における癒しと救済③					イスラームにおける救済					久間	講義
15回	総括					授業内容のまとめと補足、試験についての説明					久間	講義

学 習 課 題

2回目課題（事後）：授業内容と配付資料をもとに仏教・キリスト教・イスラームの教理の概要をまとめる。

5回目課題（事後）：授業内容と配付資料をもとに仏教・キリスト教・イスラームの運命観をまとめる。

8回目課題（事後）：授業内容と配付資料をもとに仏教・キリスト教・イスラームにおける病の概念をまとめる。

11回目課題（事後）：授業内容と配付資料をもとにヒンドゥー教・仏教・キリスト教における医師の概念をまとめる。

14回目課題（事後）：授業内容と配付資料をもとに仏教・キリスト教・イスラームにおける癒しと救済の概念をまとめる。

※いずれも提出は不要。ただし試験の準備をする際に必要になるので、各自で進めておくこと。

実務経験を活かした教育の取組